

ABSTRACT OF JAPANESE UTILITY MODEL LAID-OPEN NO. S63-172061

To provide an integrated circuit board connecting device having an insulating flexible wiring board pressurizing member and a hybrid integrated circuit board pressurizing member. The insulating flexible wiring board pressurizing member includes a pressurizing face having a saw tooth shape. The hybrid integrated circuit board pressurizing member is made of an elastic material. The hybrid integrated circuit board pressurizing member is attached to a clamping shaft that rotates by operating a handle. The gap between the hybrid integrated circuit board pressurizing member and the pressurizing face of the insulating flexible wiring board pressurizing member changes according to the position of the handle.

公開実用 昭和63-172061

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-172061

⑤ Int.Cl.⁴

H 01 R 9/09
23/68

識別記号

3 0 3

庁内整理番号

C-6901-5E
D-6901-5E
Z-6901-5E

⑬ 公開 昭和63年(1988)11月9日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑭ 考案の名称 集積回路基板接続装置

⑮ 実 願 昭62-66071

⑯ 出 願 昭62(1987)4月30日

⑰ 考 案 者 鹿 志 村 洋 次 神奈川県海老名市本郷2274番地 富士ゼロックス株式会社
海老名事業所内

⑱ 出 願 人 富士ゼロックス株式会 東京都港区赤坂3丁目3番5号
社

⑲ 代 理 人 弁理士 蛭川 昌信 外2名

成集積回路基板、2はフレキシブル配線板、3は固定部材である。

図において、コの字型固定部材3にはフレキシブル配線板を挿入できる開口が設けられてあり、この開口を通してフレキシブル配線板を挿入し、混成集積回路基板1とフレキシブル配線板2の両者を固定部材で挟み込むことにより固定接続していた。

〔考案が解決しようとする問題点〕

しかしながら、このような従来の固定部材による接続では、電極の位置合わせが困難であると共に、接触不良を起こし易く、取り付け、取り外しに時間がかかる等の欠点があった。

本考案は上記問題点を解決するためのもので、高圧着性が得られ、位置合わせ、取り付け、取り外しが容易な集積回路基板接続装置を提供することを目的とする。

〔問題点を解決するための手段〕

そのために本考案の集積回路基板接続装置は、圧着面が山形状に形成された絶縁性フレキシブ

路基板、2はフレキシブル配線板、4は圧着治具、5は加圧ポイント、6はアブソーバ、7はクランプ軸、8はクランプハンドルである。

図において、加圧ポイント5は絶縁材からなり、フレキシブル配線板を圧着する面が山形形状に形成されている。アブソーバ6は混成集積回路基板1へ局所的なストレスを与えないようにすると共に、確実な固定支持ができるように弾性材から成っており、クランプ軸7に固定されている。クランプ軸7にはクランプハンドル8が取り付けられており、クランプハンドル8がAの位置にあるときには、加圧ポイント5とアブソーバ間の間隔が狭く、クランプハンドル8がBの状態にあるとき加圧ポイント5とアブソーバ間の間隔が最も広くなるように、アブソーバの形状をハート形にしたり、アブソーバの偏心位置にクランプ軸を取りつけるようにしている。

このような構成において、混成集積回路基板1とフレキシブル配線板2を圧着固定する場合は、クランプハンドル8を第2図(ロ)で示すBの位

アブソーバ部の肉厚を任意に変えることにより任意の混成集積回路基板に適用することが可能となる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案による集積回路基板接続装置の一実施例を示す斜視図、第2図(イ)は同正面図、第2図(ロ)は同側面図、第3図は従来の混成集積回路基板とフレキシブル配線板との電氣的接続方法を示す図である。

1…混成集積回路基板、2…フレキシブル配線板、4…圧着治具、5…加圧ポイント、6…アブソーバ、7…クランプ軸、8…クランプハンドル。

出願人 富士ゼロックス株式会社
代理人 弁理士 蛭川昌信(外2名)